

# 天草家保通信

熊本県天草家畜保健衛生所

TEL 0969-22-3668 FAX 0969-24-4393

HP) <http://www.pref.kumamoto.jp/construction/section/kaho/index.htm>

E-mail) amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp

## 暑熱対策

これから夏にむけ、暑い日が増えてきます。  
人が暑いと感じるときは、動物も暑いと感じています。  
少しずつ夏のような暑い日も出てきていますので、  
今月は暑熱対策の特集を行っていきたいと思います。



### ～暑熱の影響～

暑熱によるストレスは、家畜の生産性に大きな影響を与えます。

1. 飼料の摂取量が減少し、それによって増体率や泌乳量、鶏では産卵率が低下します。
2. 繁殖機能低下が見られます。雄においては造精機能が低下、雌においても発情微弱無発情、受胎率の低下などが見られます。
3. ストレスにより細菌やウイルス感染への抵抗力が低下します。
4. 熱中症により死亡してしまう可能性もあります。

### 暑熱対策(環境)

- ・畜舎周辺の片付けを行い、風が通るようにする。
- ・窓やカーテンを開き換気をよくする。また換気扇や扇風機を回す。  
早朝や夕方扇風機を回すことで涼しい状態を長く保つことができます。
- ・スプリンクラーを設置し畜舎内の温度を下げる。  
湿度が上がりすぎないように注意すること。
- ・屋根に断熱材を用いたり、遮光ネット、樹木等で日陰を作り、日射を制御する。  
背の低い樹木を植えても風通しが悪くなるだけなので注意。
- ・畜舎外にも散水、放水し体感温度の低下に努める。

温度の管理とともに湿度管理も重要です。

湿度が高いと体感温度が上昇し、熱中症を起こしてしまいます。

湿度の管理も怠らないよう注意して下さい。

## 暑熱対策(飼養管理)

- ・冷たく新鮮な水を供給する。
- ・新鮮な飼料を給与。
- ・ビタミン・ミネラル、重曹などの飼料添加物を与える。
- ・糞を貯めない。(熱源となる)
- ・飼養密度を減らす。

## 暑熱対策(動物種ごと)

### 【牛】

- ・新鮮な飼料を数回にわけて給与。
- ・夜間の粗飼料給与。
- ・夜間に畜舎を開放し涼しい風をいれる。
- ・毛刈りを行う。

### (放牧)

- ・日中放牧する場合は、日陰のある牧区を使うか、涼しい時間帯に行く。
- ・給水器を増やし水源を確保する。
- ・行動をよく監視し、異常畜の早期発見に努める。

### 【豚】

- ・給餌や餌ならしの回数を増やし、新鮮な餌を与え食欲をかき立てる。
- ・高エネルギーで嗜好性の高い飼料を給与。
- ・豚の移動や出荷は早朝、夕方の涼しい時間に行く。
- ・水の頸部滴下を行う。

### 【鶏】

- ・ドリンカーの増設。
- ・パイプで水を送っている場合はパイプ内の水が温まりやすいので、可能であれば常時流水状態にし、常に新鮮で冷たい水を供給する。
- ・機械で水の供給を行っている場合には、出す間隔を短く設定する。
- ・早朝や夜間の涼しい時間帯に給餌を行う。
- ・餌を湿らせ嗜好性をあげる。(カビの発生に注意)
- ・飼料の栄養分の割合を増やす。
- ・鶏を興奮させるような移動、ワクチン接種等は早朝、夜間に行く。  
特にワクチン接種は暑熱によりストレスを感じた状態だと効果が十分に得られない。

もしも暑熱によるストレスをまともに受け、ぐったりしている様子が見られたら・・・  
熱中症を起こしている可能性が高いので、応急処置として水をかけ体を冷やし、  
かかりつけの獣医さんに連絡して下さい。